



気象総合プラットフォーム

ZEROSAI クロス-AI

気象観測装置

(AC100v仕様)

設置要領書 (2026年2月)



気象庁予報業務許可 第51号

システム株式会社

この度は、弊社の気象総合プラットフォーム
ZEROSAI X-AIをご導入いただき、
誠にありがとうございます。

本書では、お客様に安全かつスムーズに
気象観測装置の設置をいただくための要領・手順に
ついて記載しています。

返却時の手順についても記載しておりますので、
お手元に保管いただきますよう、
よろしく願いいたします。

目次

作業を行う前にお読みください	・・・3
設置イメージ・機器構成	・・・4
設置手順	・・・5
①風向風速計の設置方法	・・・5
②伝送装置の設置方法	・・・6
③雨量計の設置方法	・・・7
④雨量計・伝送装置・電源の接続	・・・8
動作確認	・・・9
設置後チェックリスト	・・・10
機器接続イメージ(例)	・・・11
ご返却についてのご案内	・・・12

作業を行う前にお読みください

- 機器を設置する単管は十分な荷重に耐えるものを使用し、機器は確実に固定してください。土質の弱い場所に設置する場合には、単管が容易に動かないように設置してください。地震、振動、強風などにより転倒して事故やけがの原因となる場合があります。
- 機器には動く部分や鋭利な部分があります。動く部分に身体の一部を挟んだり、鋭利な部分でけがをしないように注意してください。
- メンテナンスを行う際は、感電や漏電の危険性もありますので、必ず電源を切って行ってください。
- レンタル機器の分解・改造・修理を自分で行わないでください。
不具合が生じた場合は、まず弊社へのご連絡をお願いいたします。
- 本サービスの設置・利用によって、お客様及び第三者に生じた損害においては、当社の故意又は過失に起因する場合を除き、当社は責任を負わないものとします。

設置・撤去に関するお問い合わせは…

シスメット(株)技術部(093-965-1033)

※対応時間 平日 8:30-17:00

■メール

info@sysmet.co.jp

■webお問い合わせ

<https://www.sysmet.jp/form/>



設置イメージ



機器構成



風向風速計

現地の風向と風速をリアルタイムに観測します。



雨量計

現地の雨量をリアルタイムに観測します。

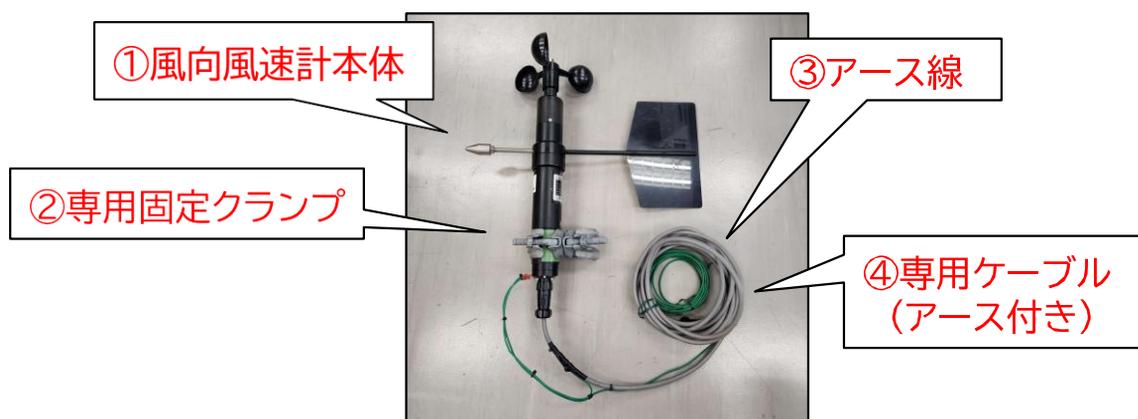


伝送装置【温湿度計付】

観測した風向・風速・雨量・温湿度のデータをシステムのサーバーに送信します。
AC100V または、専用の太陽光電源装置(オプション)で稼働します。

※単管・電源等はお客様でのご準備をお願いいたします。

1. 以下の部品・道具等が揃っているかご確認ください。



3. 単管に風向風速計 本体を固定します。

安全のため、単管は地面に寝かせて、取り付けた専用固定クランプを単管の先端に仮固定します。

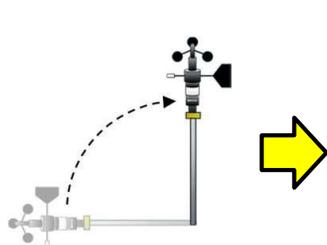


※風向風速計上部のカップ(風杯)は破損しやすいため、取り扱いにご注意ください。

※固定がゆるいと単管が外れて事故につながる恐れがあります。

ラチェットレンチやスパナで確実にゆるんでいないことを確認してください。

6. 風向風速計を固定した単管を立ち上げ、設置場所の単管に仮締め固定します。



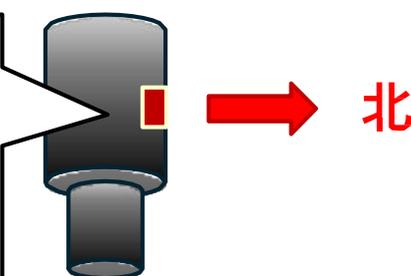
※立ち上げる前に、クランプが緩んでいないことを確認してください。

※作業を行う際は、周囲の人や物に注意してください。

7. 本体に表示されている「N」が北に向くように調整本締めします。



風向風速計本体に表示されている「N」



この状態になっていればOKです。

最後に仮締めしていたクランプを本締めし、しっかりと固定されているのを確認してください。

本体の底部に専用ケーブルを奥まで差し込み、ガイドを時計回りに動かしてロックします。

1. 以下の通り揃っているか確認ください。

① 伝送装置(本体)

背面にクランプがついています。

② 主電源ケーブル(AC100V) 及び 受け口コネクタ

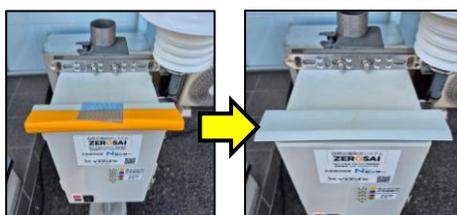
※後述の「④各機器・電源の接続」
で取り付けます。

③ 通風筒付き 温湿度センサー

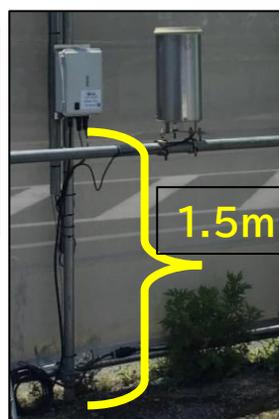
④ 底カバー ※設置前に取り外 してください



2. 伝送装置を単管にクランプで取り付けます。



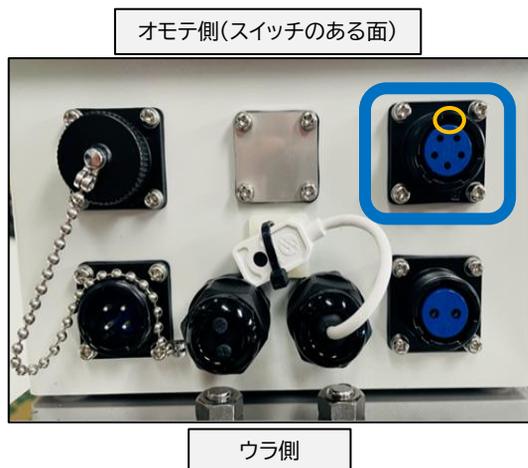
底に取り付けられている底カバー
(オレンジの緩衝材)を取り外してく
ださい。
単管に伝送装置のクランプを2か所
単管へ接続します。



※地面から1.5m以上
の高さに設置すること
を推奨します。

これより低い場所に設
置すると、底部にある
温湿度計が地面からの
輻射(ふくしゃ)熱を受
けて正しく観測できな
い可能性があります。

3. 風向風速計 専用ケーブルを伝送装置に取り付けます。



伝送装置の底部(凹側)



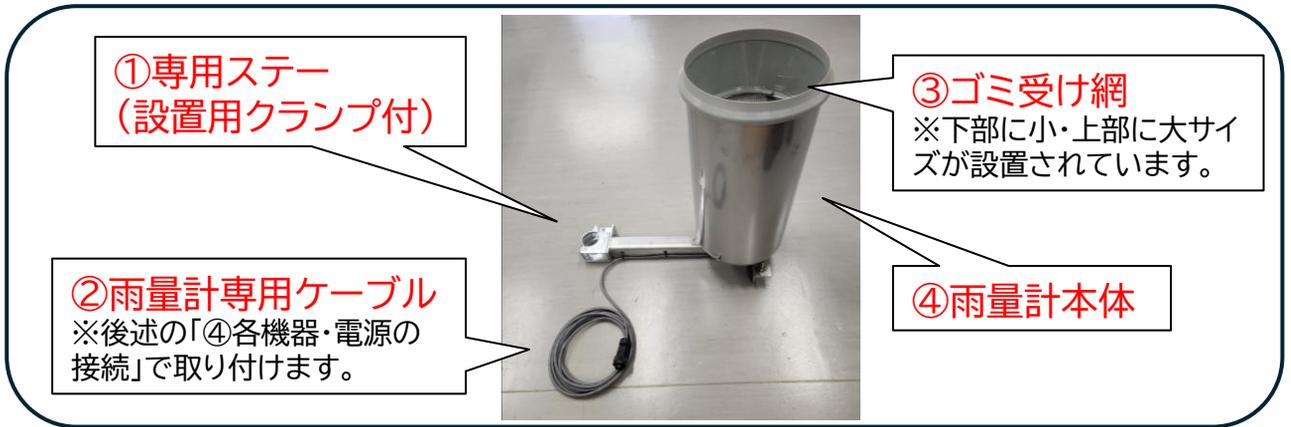
風向風速計ケーブル(凸側)



ケーブル側の上部の凸の位置を伝送装置側の凹に
合わせて奥まで差し込んでください。

差し込んだら、黒色のガイドを時計回りに回します。

1. 以下の通り揃っているか確認ください。



2. 雨量計取り付け予定の単管を垂直に固定します。



取り付け予定位置の周辺に障害物がないことを確認してください。

※軒下や壁沿いなどに設置すると、雨量が適正値より低く観測される恐れがあります。

雨量計を固定する単管が垂直であることを確認します。

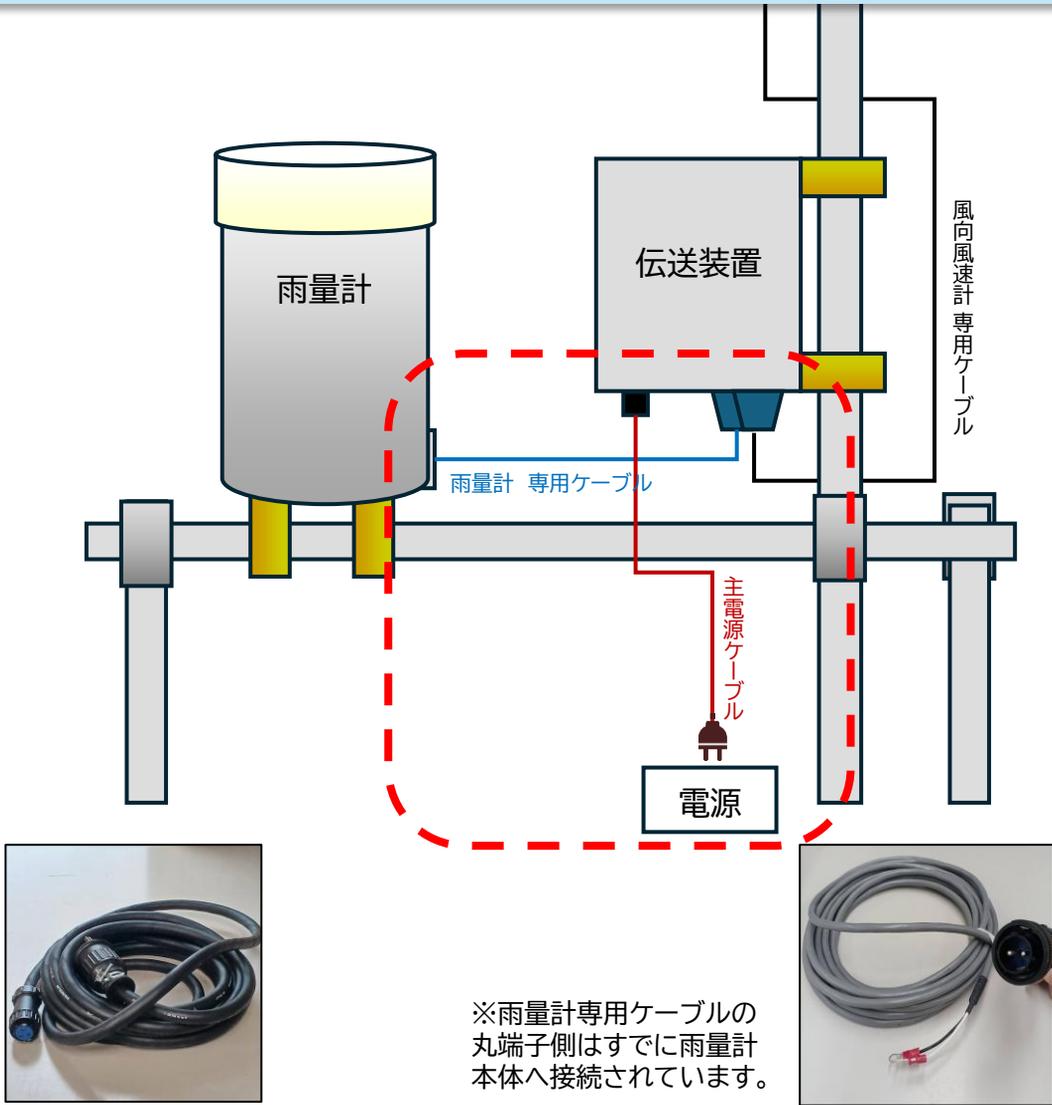
※垂直でない単管へ設置した場合は、雨量を正確に観測できない可能性があります。

3. 雨量計を単管に固定します。



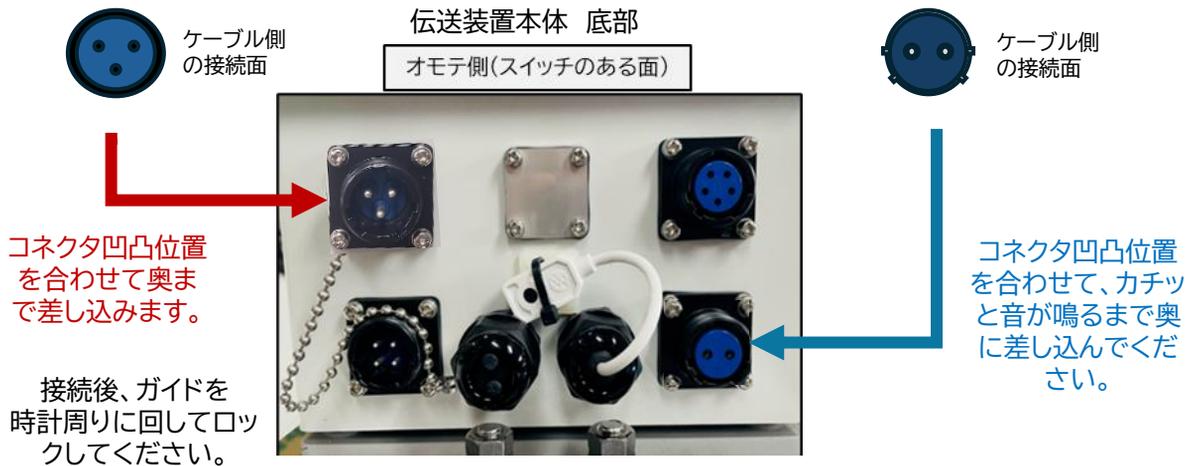
※クランプ部にケーブルを挟みこまないように注意してください。

1.主電源ケーブル・雨量計ケーブルを伝送装置 本体に接続した後で、電源にプラグを差し込みます。



主電源ケーブル

雨量計専用ケーブル



1.電源を入れ、ランプの点灯を確認します。



ランプの状態	機器の状態
オレンジ色	電源ON
青色(点滅)	通信準備中 ※電源ONと同時に点滅します。
青色(点灯)	通信確立 ※準備から確立まで約1分かかります。
赤色(点灯)	状態異常 ※電源の入り切りをお試しください。

2.雨量計の動作確認を行います。



雨量計に上から水を注ぎます。
中の「ます」が動き、カタンと音がすることを確認してください。

※音がしない場合は、中の「ます」が固定されていないか確認してください。

3. シスメット(株)にてデータ確認を行います。

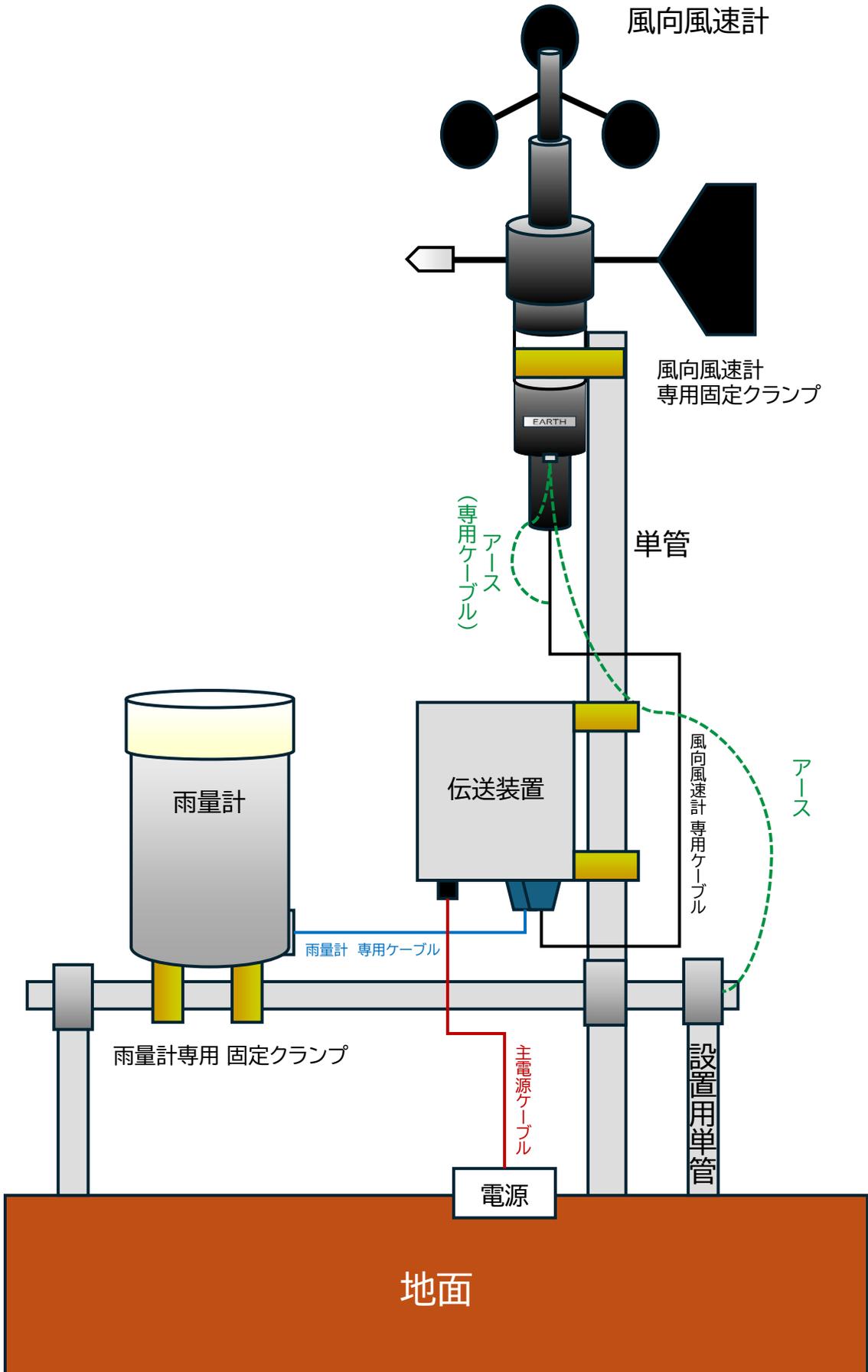
通信が確立し、風向風速計の北方向、雨量計も問題がないことを確認したら弊社技術部および気象予報士がデータ確認を行いますので、

シスメット(株)技術部(093-965-1033)へご連絡をお願いいたします。

※対応可能時間は平日8:30-17:00となっております。ご了承ください。

観測不良・機器の破損などの不具合を招くことがありますので、最後に必ずご確認ください。

	各ケーブル・コネクタが 確実に接続されていること
	各機器のネジ・クランプ等が 緩んでいないこと ※仮固定のままになっていないか ご確認ください。
	アース線が 接続されていること
	風向風速計の「N」が 北に向いていること
	雨量計を設置している単管が垂直で あること
	ホームページにログインし、トップ画 面でデータが閲覧できること



返却時は、破損防止のため所定の手順で
ご梱包・ご返却いただいております。

梱包手順については弊社HPに詳細を記載しておりますので、以下URLまたは二次元バーコードよりアクセスください。

https://product.sysmet.jp/guide/n_packing.html



ご導入いただき、
ありがとうございます！

ご不明点は気軽にお問い合わせください。

シスメット(株)技術部(093-965-1033)

※対応時間 平日 8:30-17:00

■メール

info@sysmet.co.jp

■webお問い合わせ

<https://www.sysmet.jp/form/>

